

事業名: まちづくり推進費
細事業名: まちづくり啓発事業費
財務コード: 143701
調書番号: 102
担当部課室: 県土整備 部 都市計画 課 計画 担当 (内線) 7458

I 事業の概要

実施期間: 始期 S61 年度 ~ 終期 年度
実施主体: 県(直営)
目的: だれ(何)を対象に 県民市町村職員
その対象をどのような状態にして まちづくりに対する意識が醸成されている。
結果、何に結びつけるのか 県民と行政が一体となった個性豊かなまちづくりの推進
内容: ①まちづくりセミナーの開催
②まちづくり功労者表彰
③まちづくりに関する情報の提供

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

Table with 9 columns: 区分, 指標, 25年度, 26年度, 27年度, 28年度, 29年度, 30年度, 31年度. Rows include activity indicators (活動指標) and result indicators (成果指標) such as seminar participation and survey results.

III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

Table for performance evaluation with columns for activity indicators (活動指標) and result indicators (成果指標). Includes a detailed evaluation text for the result indicator.

「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

Table for necessity of review with columns for necessity (必要性), effectiveness (有効性), and review margin (見直しの余地). Includes checkboxes for high/low necessity and review margin, and a text box for explanation.

V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

Table for direction of review with columns for implementation method changes (実施方法等の変更) and explanation (説明).

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。